



横浜市福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書  
ルーチェ保育園 鶴見

平成 29 年 3 月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

## 目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	7
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	12
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	13
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	14
評価領域Ⅵ 経営管理.....	15
利用者家族アンケート分析.....	16
利用者本人調査.....	20
事業者コメント.....	23

## ◆ 実施概要 ◆

事業所名	ルーチェ保育園 鶴見
報告書作成日	平成28年3月16日 (評価に要した期間4ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

### \*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年11月7日～平成29年1月10日】 <ul style="list-style-type: none"><li>説明会后、職員個々で自己評価を記入し、グループごとに意見交換をしながら1項目ずつ確認した。</li><li>グループごとにまとめたものを、主任、園長が話し合いながらまとめ、職員にフィードバックし、合意してまとめた。</li></ul>
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年12月5日～12月19日】 配付：全園児の保護者（53家族）に対して、園から手渡しした。 回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成29年2月15日、2月17日】 <b>■第1日目</b> 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（園長） <b>■第2日目</b> 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査（主任・保育士・非常勤保育士・栄養士） 事業者面接調査（園長）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成29年2月15日、2月17日】 <ul style="list-style-type: none"><li>訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。</li><li>乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。</li></ul>

## ◆ 評価結果についての講評 ◆

### 【施設の概要】

ルーチェ保育園鶴見は、JR「鶴見駅」西口から徒歩3分、京急線「鶴見駅」から徒歩5分の駅前商店街をぬけた住宅地にあります。平成27年（2015年）4月に株式会社ルーチェによって開設されました。利便性のよい場所ですが、周囲は水鳥を観察できる鶴見川遊歩道や公園、大きな木々のある総持寺の境内など自然環境に恵まれた立地となっています。

園は、1階に0、1歳児保育室、調乳室、沐浴室、乳児用トイレ、事務室、給食室があり、2階に2歳児と幼児の保育室、幼児用トイレ、多機能トイレがあります。幼児の保育室はスライドドアで仕切られていて、誕生会や行事等のときは、ホールとして使用しています。芝生の広い園庭があり、子どもたちは走り回ることができます。

定員は60人（生後57日経過から就学前まで）です。延長保育を実施していて、開園時間は7時30分～19時30分、土曜日は8時00分～16時00分です。

保育理念は「子どもと共に笑い 子どもと共に感じ 子どもと共に成長する」と定め、保育方針を「子どもの目線 子どもの考え 子どもの時間を大切に想う」「子どもの創造性を引き出し 未来への可能性を信じる」「暮らしの中での大切なことを学び合い 生活力を育む」とし、保育理念を基に保育目標を「心身ともに丈夫で健康な子」「素直で思いやりのある子」「創造的表現のできる子」としています。

### 1. 高く評価できる点

#### ●一人一人が大切に見守られ、明るく元気に園生活を送っています

園では、子どもたちの気持ちを尊重するように心掛け、子どもたちが、想像力を膨らませ発想豊かに活動し、自分で考えて行動できるように努めています。子どもたちの意見をもとに運動会の種目に鉄棒を取り入れ、子どもたちは、前回りや逆上がりなど、一人一人、自分でやりたい演技を選びました。絵本の読み聞かせで心に残った場面を想像して絵に描いたり、散歩で出かけた総持寺の境内では、落ち葉や木の実、石などを使ってお店屋さんごっこをする姿が見られました。遊具が無い空き地でも、スペースをたくさん使って、リレー遊びや花いちもんめ、ドロケイをして元気に遊んでいます。

園では、子どもたちが年齢に応じて、日々の保育の中で生活習慣を身につけられるよう取り組んでいます。乳児クラスでは着替えやトイレなど、徐々に覚えていけるよう、保育士が丁寧に手助けしながら個別に対応しています。給食後、自分で椅子を持って洗面台まで行き、歯磨きをする姿が1歳児クラスでも見られました。3歳児は 脱いだ服をたたみ、袋に入れます。4歳児になると服を布に包んで結ぶことができ、4、5歳児は登園後の支度を自分でしています。2歳児クラスでは、年度末になると進級に向けて、3、4歳児と一緒に午睡をするなどの機会を作っています。5歳児は、普段は素足で過ごしていますが、就学に備えてスペシャルカリキュラムのときは上履きを履いて活動するなどしています。

このように、遊びや生活の場面において子どもたちは保育士に大切に見守られ、明るく元気に園生活を楽しんでいます。利用者家族アンケートでは、「子どもは園が好きで楽しんでいる」「保育内容に満足している」などの意見が寄せられています。

## ●園長を中心に職員は連携して保育の質の向上に努めています

職員は、個々に「目標管理シート」に1年の目標を定め、その目標に沿った社内研修、外部研修などに積極的に参加して自己研鑽に努めています。研修に参加した職員は得た知識を園内研修で報告し、保育に活かすよう努めています。園長は人権を守る観点から、「言葉について」を大切なテーマとして研修を実施するほか、職員にことある毎に話すようにしています。また、系列園間で公開保育を実施し、お互いに学び合っています。職員間で、昼礼や伝達ノート、回覧ノートで情報を共有し、連携して日々の保育を実施しています。看護師は感染症や衛生管理、救急救命などに関する園内研修を実施したり、クラスを回り保育士と連携して歯磨きの仕上げ磨きをするなどしています。栄養士は給食時に保育室に入って子どもたちの様子を見たり、保育士と協力し合い、食育のクッキングを実施したりしています。散歩時は保育士同士で、周囲の安全に気を配るなど日々の保育の中で職員間の連携が図られています。また、日常的にお互いに気がついたことなどを素直に言い合える関係性があり、さらに昼礼、定例ミーティングなどで、園長の助言をもとに理念に立ち返り、職員同士が振り返りをおこなう仕組みができています。このように、各職種の職員が園長を中心に基本理念のもと、より良い保育を目指して取り組んでいます。

## 2. 独自に取り組んでいる点

### ●さまざまな活動を取り入れた「スペシャルカリキュラム」を実施しています

園は、“本物に触れる 自分で学ぶ”をテーマに、子どもの成長に合わせて、体操・デザイン・英語・音楽・クッキングを取り入れた「スペシャルカリキュラム」実施しています。

フルート、ヴィオラ、バイオリン、チェロなどプロの音楽家による演奏会（0歳児から参加）を地域の方も招待して、年に5回開催したり、“自分で育て 自分で作り みんなで食べる”として、月1回栄養士が中心となってクッキング（2歳児から参加）をおこなっています。体操は、“健康な心と体の基礎作り”としてマットや平均台などで運動遊びを週1回、デザインは、“手作業を通して考える力を育てる”として幼児から月2回、英語は、週1回幼児が参加して歌ったり、ダンスをしながら英語で遊びます。

「スペシャルカリキュラム」を通して子どもたちは、さまざまなことを遊びながら楽しんで学んでいます。

## 3. 工夫・改善が望まれる点

### ●さらなる地域子育て支援への取組が期待されます

散歩などの際には、職員は積極的に地域の人々と挨拶を交わし、温かい言葉をかけてもらっています。また、子どもたちが商店街に苗などを買いに行ったり、夏まつりや演奏会に地域住民を招待するなどの取組をおこなっていますが、開設2年目の新設園であることもあり、保育園の専門性を活かした相談事業や交流保育、園庭開放などは、実施されていません。

今後は、定期的に相談日を設け、掲示などして地域住民に周知し、情報を発信したりするなど地域の子育て支援へのさらなる取組が期待されます。

# ◆ 分類別評価結果 ◆

3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある

## 評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重

<b>評価分類 I-1</b> <b>保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b>	<b>評価結果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は「子どもと共に笑い、子どもと共に感じ、子どもと共に成長する」と定め、理念を基に保育方針を「・子どもの目線 子どもの考え 子どもの時間を大事に想う・子どもの創造性を引き出し 未来への可能性を信じる・暮らしの中での大切なことを学び合い 生活力を育む」としています。保育目標を『心身ともに丈夫で健康な子』『素直で思いやりのある子』『創造的表現のできる子』としていて、子ども本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 保育理念、保育方針、保育目標を玄関、事務室、更衣室など園内の目につく場所に掲示し、日々確認しています。保育士は年間指導計画を作成する際に、保育理念や保育方針、保育目標に沿っているか確認しています。</li> <li>・ 保育課程は子どもの発達過程に沿って、養護、教育、食育など項目ごとに作成されていて、子どもの最善の利益を第一義としたものになっています。保育課程には、保育理念や保育方針、保育目標、地域の特色、地域との関わりなどが明記されていて、地域の実態や周囲の環境を反映したものとなっています。</li> <li>・ 保育課程に基づき、年齢ごとに子どもの姿、ねらい、健康・安全、環境設定、配慮などの項目に沿って指導計画を作成しています。子どもの関心や意見をもとに運動会の種目を決めるなど、子どもの意見や関心を指導計画に反映させています。</li> <li>・ 保育士は子どもに優しく話しかけ、子どもの表情やしぐさ、言葉などから子どもの意思を汲み取っています。幼児クラスでは、散歩の行先や活動などを子どもの意見・要望を聞いて一緒に考える保育を心がけています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-2</b> <b>子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b>	<b>評価結果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園説明会で保護者に面接希望日を聞き、改めて個別に園長が丁寧に保護者と面談をおこなっています。入園までの生育歴、既往症、食事、アレルギーなど家庭での状況を記入してもらい、面談でも確認して把握しています。把握された子どもの情報は職員が共有していて、園での保育に活かしています。</li> <li>・ 短縮保育（ならし保育）は、個別面談時に保護者に説明し、子どもの様子や保護者の状況に合わせて、柔軟に対応して実施しています。0、1歳児の新入園児に対しては、主に担当する保育士を決めています。「おたよりノート」を使用し、1日の子どもの様子、健康状態や食事、生活などについて保護者への丁寧な連絡を心がけています。保護者も家庭での様子を記入して相互に理解を深めています。幼児は「シール帳」を使って保護者と情報交換をおこなっています。</li> <li>・ 年度始めは、在園児担当の職員を配置して在園児に配慮するよう心掛けています。</li> <li>・ 年齢ごとの年間指導計画や月間指導計画、個別指導計画などは、子どもの発達や状況に応じて作成し、評価や見直しをして、次の計画を作成しています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-3 快適な施設環境の確保</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>園内外はマニュアルに沿って清掃がおこなわれ、常に清潔に保たれています。24時間換気システム、空気清浄機、扇風機などを整備し、常に通風・換気等に留意しています。施設内の温・湿度は、各保育室に温・湿度計を置き、エアコン、加湿器などで調整して適切に管理しています。陽光は十分取り入れられています。</li> <li>沐浴室や乳児用トイレ、幼児用トイレ、園庭に温水シャワーがあります。沐浴・温水シャワーは使用時だけでなく、定期的に清掃しています。</li> <li>給食のあと、子どもたちは給食を食べた場所と別の場所で着替えをして、保育士が読み聞かせなどしています。その間に保育士は床を丁寧に拭くなどして、0、1歳児は布団、2歳児からコット（簡易ベット）を敷き、午睡に入っています。早く眠くなった子どもにも対応しています。</li> <li>屋内の異年齢の交流の場として、朝夕の合同保育のほか、4、5歳児は同じ保育室を用い、1月に5歳児が午睡をしなくなると、3、4歳児が同じ保育室を用いて日常的に異年齢で遊んでいます。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>0、1、2歳児については、子どもの生育歴や心身の発達を考慮して、個別指導経計画を作成しています。個別の目標・計画は、クラス担任同士で一人一人の子どもについて話し合い、子どもの発達状況に合わせて柔軟に変更・見直しをしています。</li> <li>保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。</li> <li>子どもや家庭の個別の状況・要望は、児童票、児童健康台帳など、定められた書式に記録しています。入園後の子どもの様子は児童票、発達記録に記録しています。子どもの記録内容は事務室の鍵のかかるロッカーに保管し、職員は共有しています。重要な申し送り事項は記録し、進級時に担任が次の担任に書類を基に口頭で伝達し、話し合いの時間を持っています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-5</b> <b>保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。</li> <li>• 特に配慮を要する子どもの個別のケースについては、昼礼や会議で話し合い、記録をして全職員が共有するよう心掛けています。会議録や研修報告等はファイリングして事務室に保管され、職員はいつでも確認することができます。</li> <li>• 園内は段差がなく、バリアフリーとなっており、多機能トイレを備えています。</li> <li>• 横浜市東部地域療育センターや鶴見区ケースワーカーと連携がとられ、助言や情報が得られる体制になっています。障害児保育に関する研修に参加した職員の報告を職員で学習し話し合える体制になっています。</li> <li>• 危機マニュアルに「児童虐待への対応」があり、園内研修で虐待の定義が全職員に周知されています。</li> <li>• 虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は、鶴見区こども家庭支援課などと連携し、常に見守る体制ができています。</li> <li>• 食物アレルギーについては、かかりつけ医師の記載した「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を保護者に提出してもらい、毎月献立配布前に栄養士、担任、看護師、主任、園長でアレルギーミーティングを実施し、保護者と連携を密にして除去食を提供しています。除去食を提供する場合は、誤食事故を防止するために、専用のトレイ、食器を使用し、栄養士が担当保育士に直接手渡しして確認しています。口拭きや台拭きも別にしてしています。</li> <li>• 文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重する姿勢があります。前年度は年間テーマを「外国」として、子どもたちに色々な国があること、写真や絵カードなどを使って行事や生活習慣などが違うことを伝えています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-6 苦情解決体制</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 苦情受付担当者は主任、苦情解決責任者は園長で、「保育園の苦情解決制度について」に明記し、保護者に周知しています。</li> <li>• 玄関に意見箱が設置され、出された要望に対する回答を掲示しています。年2回の懇談会、年1回の個人面談を実施するとともに保護者には行事後にアンケートをおこない、保護者の意見を聞いています。また、保護者の代表が参加する運営委員会では年度末に運営委員アンケートを実施し、園生活全般、戸外活動、職員についてなど多方面の項目について記載してもらい意見を聞いています。</li> <li>• 第三者委員に直接苦情を申し立てることができます。第三者委員を交えて対応する仕組みは、文書に明記されています。</li> <li>• 園単独で解決困難な場合には、鶴見区役所と連携し、相談しています。</li> <li>• 要望や苦情の内容や経過、対応策について、昼礼や会議で職員に報告し、周知しています。</li> </ul>	

評価分類Ⅱ－1 保育内容〔遊び〕	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 0、1歳児には状況に合わせておもちゃや絵本を保育士が複数出して、選んで遊べるようにしています。2～5歳児は廊下におもちゃや絵本が置いてあり、自由に保育室に持っていったり、廊下でも遊べるようにしています。3～5歳児は個々の引き出しに粘土や自由画帳などが入っていて、いつでも自由に遊ぶことができる環境づくりをしています。また、0、1歳児の保育室では、クッションマットやキルトの敷物を使ってコーナーを作り、安心して遊べる広さの工夫をしています。</li> <li>• 公園で子どもたちの提案で鬼ごっこをしたり、1人が提案した「しっぽとりゲーム」をみんなでしたり、子どもの自由な発想を集団活動に取り入れています。また、広い場所で鬼ごっこをする子、1人で砂利を踏んで遊ぶのを楽しむ子、おままごとをする子など自由に遊ぶ子どもたちを観察できました。</li> <li>• 各クラスごとに園庭のプランターに好きな野菜を植えて、育て、収穫するなど、栽培を通して体験できることを保育に取り入れています。また、緑の多い公園やお寺の境内に出かけて遊ぶなど、自然に触れる機会を作っています。</li> <li>• 日々の活動の中に、園庭遊び、散歩、公園やお寺での外遊びを取り入れて、子どもたちが思い切り体を使って遊ぶことができるようにしています。</li> <li>• 0歳児から好きな音楽を選んで聴けるような働きかけを保育士はおこなっています。また、子どもたちは自由に歌を歌ったり、自由画帳に絵を描いたりして自分の気持ちを表現しています。笑ったり、泣いたり、怒ったりする子どもの気持ちの表現を大切にしています。</li> <li>• 朝、夕の合同保育は異年齢児と一緒に遊び、年長児は年少児を大切にしている様子を観察できました。散歩に異年齢が手を繋いで行くことが日々の活動に入っています。夏には2ヶ月間、3～5歳児を2つのグループに分けた縦割り保育を実施して交流を図っています。</li> <li>• 年齢に応じた散歩コースを準備しています。散歩に行くときに、1歳児はシャボン玉を、4、5歳児は縄跳びを持っていくなど、散歩先で、年齢に応じた遊びができるように工夫をしています。 「スペシャルカリキュラム」では年齢に応じて運動能力を高められるよう体操の活動を取り入れています。</li> </ul>	

<b>評価分類Ⅱ－１ 保育内容【生活】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもたちがプランターで育てた野菜を給食に取り入れるなどしています。また、配膳や食器の片付けなど、年齢に応じて子どもたちが自分でおこなえるよう配慮しており、子どもたちが食事とその過程に興味を持つことができるようにしています。</li> <li>• 子どもたちが落ち着いた雰囲気であることができるように、一人一人にトレイで配膳しています。担任の保育士も一緒にテーブルで食べて食事を楽しんでいます。食器は、本物に触れさせたいという思いで陶磁器を使用しています。どの食器も少し深みがあり、スプーンでもすくいやすい形になっています。2歳児までは年齢にあった形状のスプーン、3歳児からは箸を用意し、成長に合わせた道具を使って食べています。</li> <li>• その日の昼食の喫食状況を栄養士が保育士から聞きとり、子どもの好き嫌いを把握しています。例えば、厚焼き卵の日は子どもたちの進みが悪かったと聞いて、次はオムレツにケチャップをかけて出してみるなどの工夫をしています。毎日栄養士が昼食の介助に入り、子どもたちの食べる様子を確認しています。</li> <li>• 毎月配布する献立表には食品群ごとに材料を分けて表示し、献立作成のポイントを情報提供したり、「栄養だより」には季節に応じたメニューのレシピを掲載したり、夏祭りに親子一緒にカレーライスとひじきサラダを食べる機会を設けたり、子どもの食生活について家庭と連携をしています。</li> <li>• 午睡時は、電気を消し、窓のブラインドを下ろすなど、部屋の明るさを調整して、子どもが安心して眠れるように配慮しています。眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かにコットで過ごすように促します。5歳児は1月から午睡をせず、就学に向けた活動をするなど、子どもの発達と日々の状況に合わせた対応をしています。</li> <li>• 子どもの排泄リズムをみながらオムツ交換をしています。トイレトレーニングは、連絡ノートや口頭などで保護者と密に連携し、一人一人の子どもの発達に応じて個別に対応しています。</li> </ul>	

<b>評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「保健衛生マニュアル」があり、マニュアルに基づき一人一人の健康状態を把握しています。既往症等の情報は入園時に「児童票」に記入されており、入園後はその都度、児童票に追記し、昼礼などで全職員に周知しています。外の活動から帰園したら、看護師が各クラスを回って、「ケガはありませんか」と確認し、昼礼で報告したことを保育士は、連絡ノートや口頭で保護者に降園時に伝えるようにしています。また、歯科衛生士が毎週園を訪れ、2～5歳児に一人ずつ丁寧に歯磨き指導を実施するなど、健康管理は適切におこなわれています。</li> <li>• 年に2回健康診断と年に1回歯科健診をおこない、児童票に記録しています。歯科健診の結果は書面で配付、健康診断の結果は必要に応じて、看護師や担任から口頭で保護者に伝えていきます。</li> <li>• 「保健衛生マニュアル」の中に感染症に関するマニュアルがあります。「入園のしおり」に学校法定感染症について詳しく記載しており、保護者に説明しています。保育中に発症した場合には、速やかに保護者への連絡をおこなうとともに、保護者の事情も考慮して、お迎えがあるまでは看護師が対応します。感染症の発生状況は掲示などして保護者に情報提供しています。感染症に関する最新情報は鶴見区の主催する研修などに看護師や保育士が参加して情報を収集し、昼礼にて全職員が情報を共有するようにしています。</li> </ul>	

<b>評価分類Ⅱ－2</b> <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b> <b>【衛生管理】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「衛生管理マニュアル」があり、マニュアルの変更は運営会社系列園の看護師が意見を持ち寄り法人ミーティングで変更を決め、変更箇所を看護師が法人の会議で確認し、昼礼などで全職員への伝達をおこなっています。看護師が講師となり、職員の衛生管理に関する園内研修をおこない、全職員が共有する仕組みを作っています。職員が日々の清掃をしており、さらに週に3回、清掃職員がマニュアルに基づいて清掃をおこない、適切な状態を保っています。</li> </ul>	

<b>評価分類Ⅱ－2</b> <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b> <b>【安全管理】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「安全管理マニュアル」があります。毎月の避難訓練で職員にマニュアルに基づいた対応を伝えるとともに、昼礼時にも伝達して全職員に周知しています。</li> <li>棚の扉にはロックがかかっており、各クラスにある電子ピアノは鎖で固定するなど転倒防止のための安全対策をおこなっています。</li> <li>「入園のしおり」に、緊急時はメールまたはソーシャルネットワーキングサービスを利用して保護者に緊急連絡をすることが記載されています。毎月、メール確認訓練、避難訓練、引き渡し訓練などを実施しています。</li> <li>救急救命法については、年に1回看護師が講師となり、消防署から人形を借りて、実践的な研修をおこなっています。前年度は、消防署の職員による講習会もおこなうなど、事故や災害に備えた安全対策が実施されています。</li> <li>「園内での事故、ケガの発生時の対応」のフローチャートがあり、保護者・救急機関・地域への連絡体制が確立しています。子どものケガについては軽傷であっても、連絡ノートやお迎え時に口頭で必ず保護者に報告をしています。</li> <li>事故などについてはヒヤリハットや事故報告書に記録して、日々の昼礼時等に職員に伝達し、改善策を検討します。また、必要に応じて全職員による会議で振り返りをおこない、細部まで情報を共有しています。</li> <li>不審者対応の訓練を実施しています。また、不審者情報は鶴見区役所からFAXで送られてくる体制が確立されています。</li> </ul>	

<p>評価分類Ⅱ－3 人権の尊重</p>	<p>評価結果</p>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・毎月おこなわれる定例ミーティングで「保育士のこと」という項目があり、主任から職員の言葉づかいや態度で気になることを指摘し、話し合う仕組みがあります。また、「泣いている子どもを放置することはどういうことか」を考えることを主任から投げかけ全職員で話し合うなど、子どもの人格尊重について全職員が認識するようにしています。保育士は、せかしたり強制したりせず、おだやかに子どもに合わせた分かりやすい言葉で話していることを観察で確認できました。子どもの表情や指さしなどから子どもの気持ちを汲み取るように配慮するとともに、言葉がけをテーマにした園内研修をおこない、職員の質の担保を図るようにしています。</p> </li> <li> <p>・保育室前の廊下に絵本やおもちゃが置いてあるスペースがあり、子どもが一人になりたいときなど友達や保育士の視線を意識せず過ごせるように配慮されています。2～5歳児のトイレには扉がついており、排泄の失敗などの際、ほかの子どもの視線を気にせず着替えをすることができます。</p> </li> <li> <p>・守秘義務については「危機管理マニュアル」の中の「プライバシー保護」の項目の中に詳しく記載されており、個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員に周知しています。「実習指導マニュアル」や「保育ボランティアマニュアル」にも個人情報の取り扱いについての項目があり周知しています。「プライバシー保護」については、散歩中の写真撮影のことや連絡帳に他児の名前を書かない、児童を特定できる表現をしないなど細かくマニュアルに規定されており、入職時に必ず伝え、全職員に周知しています。「入園のしおり」に「個人情報の保護について」という項目があり、入園時に保護者に説明し了解を得ています。児童票など個人情報に関する書類は事務所の施錠できる場所に保管、管理しています。</p> </li> <li> <p>・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていません。制作活動で好きな色を選んだり、園庭遊びも性差に関係なく好きな遊びをしていることや順番、グループ分け、整列などを性別にしていないことが観察できました。「女の子がピンク、男の子が青じゃないといけないんじゃないよ。何でもいいよね」と意識して保育士が伝えることの大切さを昼礼などの際に職員同士で確認するようにしています。</p> </li> </ul>	

## 評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- 保護者に対して、保育方針については入園時に説明するとともに、クラス懇談会で「園目標」を配布し説明をおこなっています。行事後のアンケートやクラスの保護者代表が参加する運営委員会で実施するアンケートで日々の保育方針が理解されているかを確認しています。
- 「園だより」には保育方針を記載し、理解されるように努力しています。入園時に配布する「入園のしおり」には保育方針、保育目標、年齢別保育目標を明記しています。
- 保護者からの相談は、事務室などで対応するようにしています。また、担任が受けた相談で、担任の判断では返答できないことは主任や園長に報告・相談をおこない、助言を得て返答したり、園長が面談をおこなうなどの体制があります。相談記録は記録されており、継続的なフォローができています。
- 日々、玄関の掲示板に各クラスの「today's」を掲示し、その日の保育の様子を知らせています。毎月「園だより」「クラスだより」を月末に配布しています。保護者懇談会では、クラスごとに保育の内容・目的を日々のエピソードを交えて担任から説明しています。また、行事やクッキングなどの様子をこまめに園のブログに載せたり、日々の保育の様子を撮った写真を掲示するなど、子どもの園生活に関する情報を提供しています。
- 「年間行事予定表」を年度初めに配布し、保護者が保育参加できやすいように配慮しています。毎年6月に12日間を設定して、自由に保護者が園に来て保育の様子を見ることができるようになっています。0、1歳児は保育参観、2～5歳児は保育参加という方法を取っていますが、保護者の負担にならないように、午前だけ、午後だけの参加でも、受け付けたり、保育参加も子どもと遊ぶ、絵本を読むなど保護者がしたいことを選んで積極的に参加できるような工夫をしています。また、保育参観の日に個人面談を設定するようにしており、参加できない保護者には別に個別懇談会の日程を設定しています。懇談会の資料は全家庭に配布するとともに、担任から保育参観の様子などを口頭で参加できなかった保護者に伝えるようにしています。
- 各クラスの保護者の代表が集まる運営委員会とのコミュニケーションや交流は積極的におこなっており、園の運営に関するアンケートを運営委員会と協力して実施するなどしています。

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・鶴見区こども家庭支援課が主催する「鶴見中央地区子育て支援イベント」に参加し、参加する親子と触れ合う中で保護者の思いを聞くなどし、地域の子育てニーズを把握する取組をおこなっています。また、イベントに参加した職員が昼礼等で報告し、参加者アンケートなどをもとに職員間で意見交換するなど共有しています。</li><li>・開設2年目で、地域の子育てを支援するサービスの提供は実施されていません。今後は、園庭開放や交流保育などの実施を検討し、園の専門性を活かしたサービスを提供する取組が期待されます。</li></ul>	

評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・見学者の育児相談に応じていますが、定期的な育児相談日を設けていません。今後は相談日を設定し、育児相談ができることを園の外に掲示するなど積極的にアピールすることが期待されます。</li><li>・近隣の病院、鶴見区のこども家庭支援課、横浜市東部地域療育センターの連絡先をリスト化し、事務室に掲示して、職員が共有しています。園長は、鶴見区こども家庭支援課に直接出向いて助言を得るなど、日常的に連携をしています。</li></ul>	

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>夏祭りや音楽会に地域住民を招待したり、夏休みに地域の高校生をボランティアとして受け入れるなどしています。ハロウィンの行事で子どもたちが近所の住宅や商店街を仮装して回るときに、事前には園からお菓子を届けて、子どもたちに渡してもらうことをお願いし、協力をしてもらいました。このようなことを通して、地域住民に保育園を理解してもらうため、取り組んでいます。</li><li>地域の図書館から絵本を借りて読み聞かせに使ったり、総持寺の境内へ日常的に散歩に出かけるなど積極的に地域の施設を利用しています。散歩の道中に商店街を通り、近所の人と挨拶をしたり、言葉を交わしたり、積極的な交流をとおして地域の園への理解が深まっています。</li></ul>	

評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>園のパンフレットを保育イベントの会場で配布したり、鶴見区こども家庭支援課の窓口においています。また、ホームページに園の方針や行事の様子などの最新情報を掲載しており、「ヨコハマはぴねすぽっと」にも園の情報を提供しています。</li><li>電話などの問い合わせには、常時対応できる体制があり、利用希望者に見学ができることを案内しています。見学の日程や時間については見学者の都合に合わせた対応をしており、利用希望者や見学者には園のパンフレットと「入園のしおり」の縮小版を配布して、説明をしています。</li></ul>	

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>「保育ボランティアマニュアル」があり、マニュアルに基づき、園の方針やプライバシー保護、守秘義務などについてボランティアに十分説明をしています。また、ボランティアを受け入れにあたり、昼礼等で職員に周知し、保護者には玄関の掲示板に名前や写真などを事前に知らせています。</li><li>「実習指導マニュアル」があり、利用者への配慮や守秘義務、あらかじめ職員や利用者には考え方や方針を伝えることが明記されています。</li><li>開設2年目で実習生の受け入れ実績がありませんので、今後は、積極的に実習生を受け入れることが期待されます。</li></ul>	

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類V-1 職員の人材育成	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・運営会社本部で、理念・方針をふまえた保育を実施する人材を育成する計画が策定されています。「目標管理シート」を用いて、職員は資質向上のため、年度の目標とさらに毎月の目標を定め、達成度を評価しています。</li><li>・個々の職員は「目標管理シート」で年度の目標を定める際に受講を希望する研修を記載しています。研修担当者の園長は、職員の要望や経験、受講歴などを考慮して園としての研修計画を作成しています。</li><li>・園は人材育成に力を入れていて、職員は、横浜市主催研修、鶴見区主催研修などを始めとして本部主催研修や系列園での研修などに積極的に参加しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出するとともに会議や園内研修でも報告しています。職員は情報を共有し、成果を職場で活かしています。</li><li>・非常勤職員にも保育マニュアルを配布して説明しています。非常勤職員は、「ノロウイルス」、「救急救命」、「応急手当」、「チャイルドビジョン」などの園内研修に参加しています。非常勤職員の日々の保育の指導担当者はクラス担任が務め、園長や主任がアドバイスや助言をしています。</li></ul>	

評価分類V-2 職員の技術の向上	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・保育士は、「目標管理シート」を用い、目標設定と達成度の評価をおこなっています。また、「月1回自己チェックをしてみましょう」を用い、自己の保育を振り返っています。職員間で話し合われた記録を掲載する「職員回覧ノート」に園の自己評価実施の詳細が記載され計画的におこなう仕組みを持っています。</li><li>・昼礼や会議で、研修や公開保育で得た工夫・改善した良い事例について報告し、取り入れています。</li><li>・保育士等一人一人が振り返りを文章化できるように、年間指導計画、月間指導計画、週案などの指導計画や日誌などの書類は書式が定型化されています。</li><li>・保育の自己評価は子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲を大切に、取り組む過程の子どもの様子を重視しています。保育士等一人一人が自己評価をおこない、自己評価の振り返りを次の計画に反映させています。</li><li>・保育士等の自己評価を定例ミーティングなどで報告し、自己評価を話し合い、園としての課題を明らかにして改善に取り組んでいます。</li></ul>	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・「人材育成計画」に経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されています。</li><li>・誕生会や行事、環境美化、食育、リトミック等、職員の希望や経験により係などが決められています。経験を積むことが責任と自信に繋がるとし、保護者対応を含め現場の職員に権限を委譲しています。判断に困ったときは園長が助言し、最終責任は園長にあると伝えています。</li><li>・職員は、会議などで業務改善について意見交換をしています。また、意見を聴収するためのアンケートを年2回実施しています。</li></ul>	

評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルーチェ保育園鶴見倫理綱領」「就業規則」に職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理などが明文化されており、園内研修“職業倫理”で職員に周知しています。</li> <li>・他の保育施設の不正、不適切な事案の情報を昼礼やミーティングなどで職員に周知を図り、さらに詳しい文書を回覧して啓発に努めています。</li> <li>・ゴミ減量化とともに、牛乳パック、空き箱、ペットボトルなどを活用するなど再利用しています。園庭に芝生を敷いて緑化事業に取り組んでいます。また、こまめに電気を消す等、省エネルギーにも取り組んでいます。</li> <li>・環境配慮の取組は、実施されていますが、園としての方針は明文化するまでには至っていません。</li> </ul>	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念、保育方針、保育目標を明記した「保育マニュアル」を職員に配布しています。また、園内にも掲示しています。園長は年2回の面談時や計画、日誌などに目を通して保育理念や保育方針を理解して保育を実施しているか確認し、必要に応じて指導しています。</li> <li>・運営会社本部の人材育成計画に主任クラスを計画的に育成するプログラムがあります。</li> <li>・主任はシフトを作成し、フリーの立場で各保育室に入って保育の支援をするなど保育の内容やほかの職務、個々の職員の業務状況を把握しています。また、主任は個々の職員が良好な状態で仕事に取り組めるように、積極的に声をかけ、話を聞いて状況の把握に努め、相談にのっています。</li> </ul>	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会社本部は保育運営に影響のある情報を収集し分析しています。結果については園長ミーティングで話し合っています。園長ミーティングで話し合われた情報を職員間で共有するため、園長は定例ミーティングなどで報告し、職員の意見を聞いています。</li> <li>・中長期的な事業の方向性を定めた「平成27年～平成31年ルーチェ保育園 中長期計画」を作成しています。本部は次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討し、会議や研修会を通して園長に伝えています。</li> <li>・次代の施設運営に備え、幹部職員を育成していく「人材育成計画」があります。</li> </ul>	

## ◆利用者家族アンケート分析◆

### 【実施概要】

- 実施期間：平成28年12月5日～12月19日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。
- 回収率：配付53件、回収38件、回収率71.1%  
\*文中の「満足度」は「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計した結果、「不満足」は「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合計した結果です。

### 【結果の特徴】

●園の保育目標や保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて84.2%となっていて、その全ての保護者が保育目標や保育方針に「賛同できる」(53.1%)「まあ賛同できる」(46.9%)と答えています。

●項目ごとの全設問37問中、満足度が90.0%を超える項目は24項目です。その内、満足度100%が8項目あります。

設問ごとの項目の中で、満足度が高い項目は「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応」「クラスの活動やあそび」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「園のおもちゃや教材」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「園だよりや展示などによる、園の様子や行事に関する情報提供」「あなたのお子さんが大切にされているか」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の100%、「保育園での一日の過ごし方の説明」「遊びを通じて友だちや保育者との関わり」「お子さんの体調への気配り」「職員の対応が話しやすい雰囲気・態度であるか」の97.4%です。

●一方不満足度の割合が比較的高かった項目は「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」が21.0%、「要望や意見への対応」15.8%、「年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」が13.2%となっています。

●「見学の受け入れについて」の満足度が63.1%と比較的低くなっていますが、「その他」が29.0%となっていて、自由回答にも「完成前で見学できなかった」「見学していない」が多数あります。

●総合的な満足度は「満足」が76.3%、「どちらかといえば満足」が21.1%、合わせて97.4%と高くなっています。

●自由記述欄には、「子ども主体で様々なことにチャレンジさせてくれる」「子どもの様子を見ると、園が大好きで楽しめている」「子どもたちの成長に合わせ、個々の個性を引き出しながら楽しく保育をしている」「保育内容に満足している」「思いやりのある先生が多い」など感謝の声が複数寄せられています。一方、少数ですが「出入り口のセキュリティが心配」「担任以外の情報が少ない」「園庭遊びが減った」などの意見が寄せられています。

## ルーチェ保育園鶴見 利用者家族アンケート集計結果

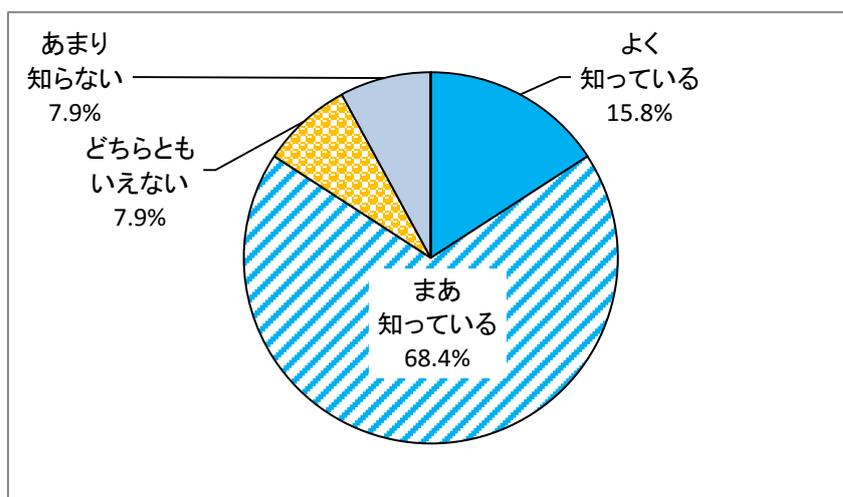
実施期間	平成28年12月5日～12月19日
調査対象	利用者家族
配布世帯数	53件
有効回答数	38件
回収率	71.7%

お子さんのクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	(人)
	4	8	7	6	7	6	0	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

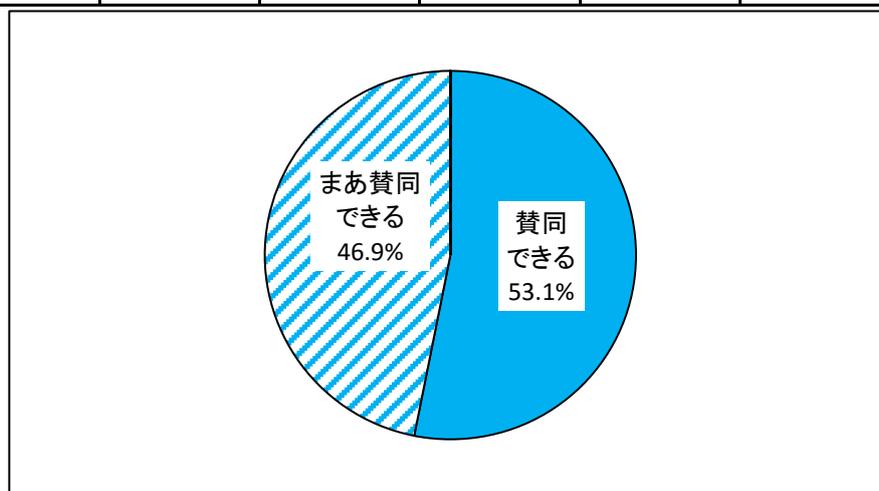
### 問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	15.8	68.4	7.9	7.9	0.0	0.0	



### 1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	53.1	46.9	0.0	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	36.8	26.3	5.3	2.6	29.0	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	44.7	42.1	5.3	5.3	2.6	0.0	
園の目標や方針についての説明には	44.7	52.6	2.6	0.0	0.0	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	71.1	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	57.9	39.5	0.0	0.0	2.6	0.0	
費用やきまりに関する説明については	63.2	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	63.2	23.7	13.2	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	50.0	36.8	7.9	5.3	0.0	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	76.3	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	60.5	39.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	73.6	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	57.9	31.6	5.3	5.3	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	71.1	26.3	0.0	0.0	2.6	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55.3	36.8	7.9	0.0	0.0	0.0	

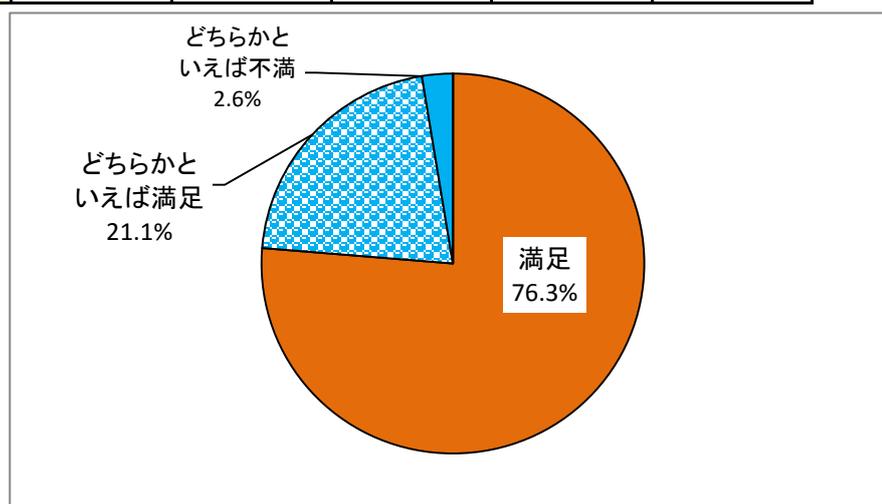
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	60.5	31.6	5.3	0.0	2.6	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	68.4	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	68.4	28.9	0.0	2.6	0.0	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	60.5	26.3	7.9	2.6	2.6	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	47.4	28.9	2.6	0.0	15.8	5.3	
お子さんの体調への気配りについては	73.7	23.7	2.6	0.0	0.0	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	60.5	26.3	7.9	2.6	2.6	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	50.0	42.1	5.3	0.0	2.6	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	65.8	26.3	7.9	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	39.5	39.5	18.4	2.6	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	57.9	36.8	5.3	0.0	0.0	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	39.5	50.0	10.5	0.0	0.0	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	39.5	7.9	0.0	2.6	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	60.5	31.6	7.9	0.0	0.0	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	
保護者からの相談事への対応には	71.1	23.7	2.6	0.0	2.6	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	63.2	13.2	10.5	2.6	7.9	2.6	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	71.1	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	81.6	18.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	57.8	15.7	0.0	2.6	18.4	5.2	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	73.7	23.7	2.6	0.0	0.0	0.0	
意見や要望への対応については	47.4	34.2	13.2	2.6	2.6	0.0	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	76.3	21.1	2.6	0.0	0.0	



## ◆利用者本人調査◆

### 【実施概要】

- 実施日時：平成29年 2月15日、2月17日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

### ●0歳児クラス（てんし組）

朝の会が始まる前は、絵本を読み聞かせる保育士の膝の上に乗ったり、壁にもたれたり、思い思いの格好で、絵本に集中しています。朝の会が終わると、散歩の準備です。「お手伝いする？自分でできる？」と保育士が声かけし、自分で帽子をかぶった子は「上手～」と褒めてもらって、散歩に出かけました。カートに乗る子、歩く子、抱っこしてもらおう子など、それぞれ子どもの気持ちを確認して保育士が対応しています。保育士が「にゃんにゃんだよ」「はっぱだよ」と声かけをしながら歩きます。公園で遊んだ帰り道は全員カートに乗り、うとうとする子もいます。すれ違う地域の人が「可愛い」と声をかけてくれます。食事は全員離乳しており、自分で食べる子、保育士にスプーンで口に運んでもらう子などさまざまですが、子どものペースに合わせてゆったりと食事をしています。食事が終わると、一人ずつ順番にビニールクッションの上でオムツを交換し、パジャマへ着替えて、部屋の隅のコーナーで保育士と遊び、全員が着替え終わると午睡の準備をして眠ります。

### ●1歳児クラス（ほし組）

朝の合同保育が終わると全員が順番に便座にすわり、必要に応じて保育士がオムツを交換します。朝の会は、保育士が人形を使いながら、みんなでおはようの歌を歌って始まります。「お名前を呼びます」と保育士がいうと「は～い」と大きな声で返事をします。「散歩に行こう」と保育士が言うと、全員立ち上がり、部屋中を走って喜び、上着を着て、順に並んで保育室を出ていきます。この日は、6人がカートに乗り、4人が2人の保育士と手を繋いで歩きます。時々、ぐずる子どもには、保育士が子どもの目線に合わせてやさしく声かけをし、穏やかな雰囲気散歩をします。お寺の境内の日の当たる安全な場所で遊びます。子どもたちはどんぐりや木の枝、葉っぱを集めたり、ひたすら砂利の上を歩いたり、丸太を立てた机でおままごとをしたり、自由に遊びます。帰り道は、たくさん遊んで満足したのか、子どもたちには笑顔が多くみられ、行きよりも言葉数が増えました。手を洗い、すぐに食事が始まります。子どもたちはスプーンを持って自分で食べます。嫌いなものがあり、進まない子には保育士がスプーンで口に運ぶのを手伝ってあげます。食後は自分で洗面所に椅子を持って行き、自分の歯ブラシで磨いて、保育士に仕上げをしてもらいます。歯磨き習慣がしっかり身についている様子が伺えます。

## ●2歳児クラス（にし組）

朝の会は保育士が電子ピアノを弾いて、子どもたちが大きな声で歌うことから始まります。保育士が名前を呼ぶと大きな声で「は〜い」と言い、「元気なお返事です」と保育士が言います。「今日のお天気は？」と聞くと「晴れ〜」と大きな声で返事があり「晴れなのでみんなでお散歩に行きたいと思います。トイレ行って、おしたくしましょうね」の保育士の言葉でみんなトイレに行きます。なかなかトイレに行かず部屋を走り回っている子には、保育士は無理強いせず「行こうね」と声かけをしながら誘導します。

4歳児クラスと一緒にお寺に散歩に行きます。4歳児と手を繋いで「さくらだ」「うめだ」「帰ったら図鑑で調べよう」と言いながら歩きます。帰園すると手洗いやうがいを自発的にします。保育士がテーブルに配膳して「みんなの前に給食ある？お袖まくったかな？机とお腹をぺったんしているかな？」と言って、「給食の歌」をみんなで歌って食べます。スプーンと食器を持って上手に食べます。食べ終わると自分で食器を片づけ、歯磨きをし、ロッカーからパジャマを出して着替えて、トイレに行きます。手を洗い、出入り口に並んで、市の図書館で借りてきた絵本と紙芝居を持って昼寝の部屋に移動しました。

## ●3歳児クラス（つき組）

3、4歳児は1つの保育室を利用しています。朝の合同保育が終わると、当番の子どもがテーブルを布巾で拭き、保育士がコップに麦茶を注ぎ、当番が一人一人に配ります。当番4人が前に出て、「姿勢をよくしましょう。お手手をパッチンそれではみなさん一緒に、いただきます。どうぞめしあがれ」と言って飲みます。おかわりを自分で入れる子、コップを片付ける子など自発的に動きます。3、4歳児一緒にピアノに合わせて大きな声で、体を動かしながら朝の歌を歌います。その後、3歳児は「デザイン」というカリキュラムをしました。カリキュラムが終わると、園庭で遊びます。三輪車、砂場、滑り台、ボールなど思い思いの遊びを次から次と変えながら遊ぶ子、ずっとお砂場道具で遊ぶ子などさまざまですが、それぞれ自分のしたいことを自由にしています。40分ほど遊び、保育室に戻ります。園庭遊びで泥んこになったので、給食前に着替えをしました。子どもたちが着替えをしている間に、保育士がトレイに給食を配膳します。当番の子どもはお箸を配り、前に出て、「みんなでいただきます」を言って食べ始めます。みんなお箸を上手に使います。食べ終わると食器を自分で片づけ、手を洗い、歯磨きをしました。

## ●4歳児クラス（そら組）

4歳児は3歳児と同じ保育室で過ごしますが、朝の会が終わると、日によって、2歳児と一緒に散歩に行ったり、5歳児と一緒に出かけたりしています。観察日は5歳児と手を繋いで商店街を歩いて、公園に行きました。公園では5歳児と対抗リレーをしました。転んでしまった子にみんなで「ガンバレ！！」と応援しています。リレーが終わると、5歳児の子どもたちとお互い握手をしました。その後は、電車を見たり、鬼ごっこをしたり、花いちもんめをするなど、自由に遊びます。遊んだあとは、30分歩いてみんな満足そうに園に戻りました。

4歳児は自分で給食を配膳します。一人ずつ順番にトレイを持って食器のあるテーブルに行きます。トレイをテーブルに置き、どこにどの食器を配膳するかは、前の子のするのを見て真似ます。食器の中にはすでにご飯やおかずが入っています。お皿を乗せたトレイを自分の席まで上手に運びます。食べ終わると、歯磨きをし、着替えます。4歳児の着替えは風呂敷のような布に入れてあり、自分でほどいて着替えを出し、脱いだ服を布に包んで結びます。足を使って一人で結ぶ子や保育士に持ってもらって結ぶ子もいます。

## ●5歳児クラス（たいよう組）

朝の会は、ピアノの音で起立し歌うことで始まります。4曲ほど歌い、挨拶をしてピアノの音で着席します。「昨日はマジカルバナナでした。今日はマジカルチョコを始めましょう」と、順番を決めて始まります。「チョコ」と言ったら「甘い」「甘い」と言ったら・・・と繰り返し、12人目で「そう」「チョコがそうになったね、みんな早く言えるようになったね」と楽しい朝のウォーミングアップをします。

「今、長い針が6です。12になったら公園に出発です。それまで楽器をしましょう」と、ピアノカ、ハンドベル、タンバリン、鈴、ウッドロック等パート別に発表会に向けて合奏の練習をします。終わると、トイレに行き、上着を着て、玄関で、「小学生のように“前にならえ”」と列を作り、一緒に出かける4歳児を待ち、手を繋いで公園に行きます。公園では、じゃんけんでリレーの順番を決め、準備体操をします。4歳児との対抗試合に勝ち「かっこいい」と言ってもらいました。その後は、はないちもんめやドロケイなどをして、遊びました。

給食は、当番が各自のトレイに主食、主菜、副菜、お茶、果物、箸を配膳します。給食の献立を言いながら「お肉は赤、キャベツは緑、ご飯は白、ゴマは黄色」などボードに貼っていきました。当番が前に出て、「いただきます」の挨拶をして食べ始めます。野菜もしっかり食べ、おかわりする子もいます。お皿を持って、お箸を上手に使います。食べ終わった子は歯磨き、着替えをして、脱いだ服は自分でたたんでしまいます。

## ●スペシャルカリキュラム<デザイン>

観察日は3歳児クラスのデザインがおこなわれました。カリキュラム担当の講師が30分間、絵の具と色画用紙、白画用紙を使って指導をします。子どもたちは、自分の引き出しからスモックを出して自分で準備します。一人一人の個性を大切に、好きな色の絵の具、好きな色画用紙を自分で自由に選びます。4色の絵の具から自分の好きな3色を選び、一色ずつ自分の指に塗り、それを自分の選んだ色画用紙にペタペタ塗る作業です。子どもたちは講師の「目のちから使えるかな?」「見てください」「今は何のポーズ?」「考える」「自分が何色を取るか考える」などの短い言葉を聞きながら、制作に集中していきます。講師の言葉を聞いて考えながらできる子もいます。できずに色が混ざってしまう子には、講師や保育士がやさしく教えます。次々と、個性の現われた作品ができあがります。次回はこれが花束に仕上がるそうです。

## ◆ 事業者コメント ◆

この度の第三者評価の受審に際し、保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。また、評価にご尽力いただきました関係機関の皆様、大変にありがとうございました。

開所より二年、課題に対し、改善できるよう取り組んで参りましたが、この度の受審により、三年目となる29年度も新たな課題が見つかりました。

保育園でお預かりしているお子様・保護者の方にご安心頂ける保育はもちろんのこと、地域の方の子育て支援も保育園の重要な役割です。

地域に貢献できる保育園運営に取り組み、今後も更なる向上を目指していきたいと思います。

ルーチェ保育園 鶴見  
園長 関塚 信子

---

## 福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : [www.yresearch-center.jp/](http://www.yresearch-center.jp/) Email : [top@yresearch-center.jp](mailto:top@yresearch-center.jp)



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02

---